

医局員のチャレンジを全力で応援! 患者のためのチーム医療を推進

医局紹介

横浜市立大学医学部 外科治療学講座

益田 宗孝 主任教授

【教育理念】

患者さんのためになる治療を安全・確実に実行でき、地域医療に貢献するとともに、日本や世界に情報を発信できる外科医を育てることを目標に日々スタッフの教育を行っています。

【医局紹介】

当教室は、心臓血管外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺甲状腺外科・救急外科の全部門を含む総合外科の医局です。大学病院と関連病院併せて25施設が連携しており、年間で合計1万5000件を超える手術がわれわれのグループ内で行われております。関連病院は神奈川県東部に多く配置されており、全25施設中23施設が神奈川県内に収束しております。地域の中規模病院、地域の総合病院、専門性の高いhigh volume centerをバランスよく抱えており、スタッフのニーズに合わせた人員配置を行っています。

教室では、腹腔鏡手術・胸腔鏡手術を積極的に導入しており、日本内視鏡外科学会の技術認定医25人が在籍しています。本年度からは、内分泌外科領域での内視鏡下手術も導入している。また、2018年4月から保険収載されたロボット支援下手術も施設認定を取得し、胃がん・直腸がんに対して導入しています。心臓血管外科では、両大学付属病院で新生児から高齢者まで幅広く扱っており、附属病院は横浜市で唯一の成人先天性心疾患対応施設で、附属市民総合医療センターは大動脈瘤センターを併設し、全国でも有数の大動脈解離を扱っている施設です。大動脈瘤に対する血管内治療やカテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)などの最新治療に加えて、新型補助循環装置のインペラーや植え込み型補助人工心臓の施設認定を取得し、心不全の外科治療を推進しています。

【研修プログラム】

後期研修プログラムは、横浜市立大学附属病院と附属市民総合医療センターを基幹病院(両院合わせて41人の指導医が配属されています)とし、神奈川県内および近隣県に25の関連施設を有しています。原則として大学附属病院で1年研修、関連病院で2年間研修というコース編成が主となってい



ます。全分野を抱える総合医局であることのメリットを活かして、後期研修終了後のサブスペシャリティの要望に合わせて、後期研修内容の調整をしています。卒後8~10年目でのサブスペシャリティ専門医の取得ができるように教育体制を構築しています。

附属病院内には専門的なシミュレーターを装備したセンターを要しており、腹腔鏡手術などのシミュレーションも可能で設備も充実している。また、大学2病院内で毎月開催しているウェットラボを通して消化管吻合、血管吻合などの基本・専門的なトレーニングを繰り返しできる体制を作っています。後期レジデント期間中に、大学院の社会人入学枠で、勤務しながら学位取得などが可能です。

【育児休暇・女性医師】

教室では150人スタッフのうち、18人の女性スタッフが在籍しています。子供の年齢や家族のバックアップ体制などを相談の上で勤務体制を調整しています。育児休暇中のスキル・最新知識維持のために育児に負担のない範囲での外来勤務、手術見学、医局勉強会への参加などを通じてバックアップを行っています。また、近年では男性スタッフの育児休暇取得も応援しております。

メディカルノートページも参照ください

(<http://ycu-first-surgery-recruit.medicalnote.jp/>)

文責：講師 佐藤 勉

DATA

横浜市立大学医学部 外科治療学講座

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9

<http://www.first-surgery.jp/>

tamagawahiroshi10@gmail.com

構成：医局員数/150人、指導医数/80人、研修医数/15人